

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシンド」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和2年8月26日 発行

No. 117

発行・編集

習志野市教育委員会

〒275-8601

習志野市鷺沼 2-1-1

☎ 047-451-1151 (代表)

中央図書館フルオープン



杉の子こども園のみんなも
お祝いにきてくれました



谷津小学校新校舎完成



8月17日、
初・登・校
始業式



学校が再開されて3か月がたちました。本来ならば7月21日～8月31日夏季休業でしたが、臨時休業期間の学習を補うために市立小中学校では、夏季休業を16日間に短縮しました。猛暑の中の教育活動でしたが、昨年度教室にエアコンが設置されたので快適に授業を行うことができました。また、エアコン設置教室以外での授業については、「授業中に水分補給の時間を設定する」等、しっかりと熱中症対策を講じての授業を行いました。新型コロナウイルス感染予防のため、まだまだ今後の見通しがはっきりとできませんが、チーム習志野として互いに支え合い、協力し合って困難を乗り越えていけたらと思います。

《第117号》 テーマ「真夏の授業」 《目次》

- 中央図書館フルオープン①・谷津小学校新校舎 … 1
- 中央図書館フルオープン②・放課後子供教室 … 2
- 総合体育大会に代わる交流試合 … 3
- 熱中症対策を講じた教育活動 … 4
- こども園・幼稚園より … 5
- 植松先生「瑞宝双光章」受賞 … 6
- 梓澤前教育委員「全国市町村教育委員会連合会功労者表彰」 … 7
- 特色ある教育活動紹介～大久保小学校～ … 7
- 習志野高校ニュース・教育長コラム … 8

祝 中央図書館フルオープン



7/17(金) 2か月間の準備期間を終えて

今回オープンした「こどもとティーンズフロア」は老朽化した公共施設再生のモデル事業として、旧大久保図書館をリノベーションした施設です。子どもがのびのびと本と触れ合う空間とするため、一般向けのエリアとは離れた位置にあり、天井も高く、明るい閲覧室となっています。司書が子どもの本をさがす手伝いをするためのこどもカウンターや、子どもが靴を脱いで本を読めるおはなし室を設けました。司書が子ども向けの物語の本を内容によって「低学年向け～中学年向け」と「中学年向け～高学年向け」に分け、子どもが選びやすいようにしました。

中央図書館は市内図書館で初めてICタグによる蔵書管理システムを導入しており、「こどもとティーンズフロア」にも自動貸出機を設置します。

(9月導入予定)



開館時間

- 開館時間：午前9時～午後8時
- 休館日：月曜日（祝日の場合は開館し翌平日が休館）、年末年始、蔵書点検のための休館 ※予約本受取コーナーは施設の閉館日（原則として年末年始）を除く午前9時～午後9時
- 個人への貸出：市内在住、在勤、在学の方。図書・雑誌は10冊まで、CD・DVDは2点まで2週間貸出し。
- 学校への団体貸出：原則としてクラス単位で50冊まで1か月貸出し（CD・DVDは不可）。※朝の読書用図書セットの小学校への貸出し：1セット（40冊）につき1か月貸出し。貸出しセット数の上限は無し（申し込みは中央図書館へ）。

図書館におけるソーシャルディスタンス

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閲覧席数を減らし、おはなし室、学習室は閉鎖しています。

問い合わせ 中央図書館利用案内 TEL 047(475)3213

放課後子供教室スタート

7/1(水) 大久保東小学校放課後子供教室オープン!

令和2年7月1日(水)に、本市初となる放課後子供教室を大久保東小学校に開設しました。放課後子供教室とは、放課後や夏・冬・春休みなどに小学校を活用して、子どもたちの安全で安心な居場所を提供する事業です。

学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施し、児童が心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進し、児童の健全な育成を図ることを目的としています。

○活動内容

- 【学習】宿題、本の読み聞かせなど
- 【スポーツ】校庭や体育館での運動やスポーツゲームなど
- 【体験活動】工作、文化活動など
- 【交流】昔遊びや季節行事を地域の人と楽しむなど

○今後の放課後子供教室 開設予定小学校

<オープニングセレモニー>



<体験活動の様子>

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開設予定小学校	大久保東	秋津 東習志野	袖ヶ浦西 袖ヶ浦東 藤崎	屋敷 向山 香澄 実花	鷺沼

※上記の表にない小学校については、環境が整い次第、開設を進めていきます。

問い合わせ 社会教育課 青少年育成係 TEL 047(453)7328

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、
 全国中学校・高等学校総合体育大会中止
 選抜高等学校野球大会・全国高等学校野球選手権大会中止
 全国吹奏楽コンクール・全日本マーチングコンテスト中止
 千葉県中学校・高等学校総合体育大会中止

悔しい分、きっと人は**強くなれる!**

そう信じて・・・



3年生のための交流試合 7月18日～8月5日

7月18日から各部活動で3年生のための交流試合が行われました。新型コロナウイルス感染予防ため、競技の特性上実施できなかった部活もありましたが、「今まで頑張ってきた3年生のために何かできないか。」という思いから実現しました。そこで、昨年度全国大会に出場した第七中学校男子バレー部主将 古城七音くんにインタビューしました。

目標としていた全国大会に挑戦できず悔しさは残りますが、体育館で練習できるありがたさに気づき、最後の試合では最高の仲間とバレーボールの楽しさを分かち合い、笑顔で引退することができました。今までお世話になった全ての方々に感謝しています。

これからも七中男子バレーボール部をよろしくお願いします。



思い描いていた引退試合ではなかったけれど、スポーツの楽しさを感じ、笑顔になりました!

写真撮影時のみマスクを外しています。

各競技で最善の未然予防をし、安全かつ安心に部活動を行っています

部活動での感染予防

第二中学校剣道部

- ①窓を開けて、大型扇風機を回し、空気の循環を常に行うこと。
- ②雨天時以外は、週に1～2回程度、ランニングや素振りなどのメニューに変え、外で行うこと。
- ③防具を着用して対人稽古を行う際は、剣道用マスクを着用し、その上から「飛沫ガード」付き面をかぶること。



剣道用マスク+飛沫ガード

第四中学校柔道部

- ①熱中症に十分留意しながら、マスクを着用し、ランメニューや筋力トレーニングを行うこと。
- ②窓を開けて適切な距離を保ちながら受け身や打ち込みの練習を行うこと。



間隔を空けて受け身の練習



一人打ち込みの様子

暑さに負けず活動中

熱中症対策を講じた上での教育活動



- 猛暑なのでエアコンをつけていますが、換気のため適宜窓を開けています。
- 授業の合間には必ず水分補給を行っています。
- 感染症予防との両立を図っています。



感染症対策も徹底中



小学校での熱中症対策

秋津小学校

本校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、熱中症の対策も行っています。日常の指導として、水分補給やこまめな休憩をとることを呼び掛けたり、着帽などの服装の指導を行ったりしています。また各教室の温度湿度計の側に、WBGT値早見表を掲示し、職員の熱中症に対する意識を高めています。特に暑くなる日の体育や、運動会練習の時には、2リットルのペットボトルを凍らせ、バケツに入れた冷水を用意する予定です。熱中症にならず安全に学習できるように、職員一同心がけています。



〈温度湿度計とWBGT値早見表〉



〈水筒は日陰に〉

津田沼小学校

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として窓と廊下の扉をこまめに開けていますが、エアコンを稼働させ室内の気温と湿度が快適になるようにしています。休み時間には児童に必ず水分補給をするように声掛けを行っています。体育の際は水筒を持っていき、すぐに水分補給ができるようにしています。

また、体育以外の授業においても、水分補給の時間を確保しています。心拍数が急激に上がらないように運動量を調整し、内容も精査しています。

中学校での熱中症対策

第一中学校

本校の教育活動で取り組んでいる内容として、教室内においては、エアコンを活用し適切な温度の管理を行っています。また、養護教諭と保健体育科が連携しWBGT値の測定を行い生徒への周知をしています。体育授業や部活動時間などにおいては、こまめに給水時間を確保し、環境条件に応じて、活動内容を工夫して行っています。場合によっては経口補水液やスポーツドリンクも活用し、日頃から個々へ適切な対応に取り組むよう意識しています。



〈大型扇風機の活用〉

第七中学校

第七中学校では熱中症対策として、各教室ではエアコンを使用し、特別教室の使用は必要最低限で行っています。また、生徒には掲示物を使い、自己管理を促すようにしています。

部活動では部活動の実施判断基準を示し、職員で共通理解を図っています。また事前に給水時間をこまめに設定し指導に当たっています。



〈掲示物での周知〉

～いきいきと表現する子どもを育むために～

東習志野こども園 教頭 熊田 奈津子

東習志野こども園では、子どもたちが様々な経験をする中で、笑顔や真剣なまなざし等、いきいきとした姿があふれる園生活を送ってほしいと願い、日々の教育・保育を行っています。

子どものいきいきとした姿につながる保育者の言葉掛けや環境について語り合うことを意図的・計画的に実践し、保育の充実につなげていけるよう、本園の研究主題を「いきいきと表現する子どもを育むために～子ども理解と環境からの働きかけに視点をあてて～」として研究を進めています。保育者間で語り合うことで、子どもたちが遊びの中で何に気づき、どのような体験をし、何が育っているかを探り、自分と異なる見方に気付く等、子どもの姿を多様に見ることができるよう努めているところです。

たくさんの「いきいき」探しをすることで、今後も子ども理解に努め、子どもたちが主体的な活動や多様な体験ができるよう、環境や援助についての学びを深めていきます。

5歳児



「ドアつけたらいいんじゃない!」

自分なりの発想を表現します!

3歳児



この葉っぱも浮かぶかな?

落ちている葉を試してます!

～身近な人との伝え合いを通して～

大久保東幼稚園 園長 布施 恵子

どんな社会になろうとも、価値観が変わろうとも、人間社会である以上、協調性やコミュニケーション力は必要です。幼稚園教育要領に示している5領域のうち、本園では、「人間関係」「表現」「言葉」の領域の視点から、「聞く力、伝える力を育む保育のあり方」という研究主題を掲げています。幼児にとって、どのような活動や環境が、思いや気持ちを聞いたり伝えたりしたくなるのか、教師は、どのような働きかけをすれば、幼児が伝えることの楽しさを感じ、自ら聞いたり伝えたりする姿へとつながっていくのか、今年度は、身近な人との伝え合いを通して、研究を進めています。



「押すよ!」
「ゆっくりね!!」

ホッチキスに手を添えて
教え合う5歳児の姿



保育者の話を
じっくりと聞く
5歳児の姿

新生活様式を取り入れた教育、保育を進めるにあたり、従来通りのような身近な人との関わりは難しい状況ですが、職員間で検討を重ね、信頼の気持ちを育み、伝え合いたいという欲求を実現するために、年少児、年長児の保育室を2階に移動し、互いの姿や様子が見えるようにしました。保育環境を工夫したことで、「年長組も同じ歌を歌っているね。」「年少組さん、巧技台やりたかったら、言ってね。手伝ってあげるから・・・」という言葉が聞かれ、互いの存在を意識した言葉が聞かれるようになりました。また、ソーシャルディスタンスに配慮しながら、園庭めぐりや巧技台を使った運動遊び、ごっこ遊び等の活動を一緒に楽しむことで、相手の話に耳を傾けて聞いたり、自分の思いや考えを積極的に伝えたりする姿が見られています。今後は、幼児にとって心を動かされるような活動となるよう遊びの環境や援助を工夫し、身近な人と心を通わせる中で、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、言葉での伝え合いを楽しめる姿を目指して、教育を進めていきます。

令和2年春の叙勲 瑞宝双光章 受章

植松榮人前教育長は、公立学校の振興に大きく貢献され、また、平成18年12月27日から平成30年12月26日までの12年間、教育長として習志野市の教育に御尽力いただきました。こうした功績から、国の叙勲を受けることとなりました。

本来であれば、5月14日に皇居近郊の伝達式会場にて瑞宝双光章^{ずいほうそうこうしょう}を授与される予定でしたが新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。そこで8月4日、市庁舎にて伝達式を執り行いました。

叙勲伝達式

8月4日(火)の叙勲伝達式では、市長、議長、副市長、教育長、企業管理者が出席し、市長より植松先生へ勲記が手渡されました。

植松先生からの御挨拶では、習志野市への感謝と、これまでの教育への思いを伝えられました。

植松先生、本当に長い間習志野市教育のため御尽力いただき、誠にありがとうございました。



写真撮影時のみマスクを外しています。

令和2年度全国市町村教育委員会連合会功労者表彰

梓澤キヨ子委員は、平成24年4月1日から令和2年3月31日までの8年間、習志野市教育委員として習志野市の教育に御尽力いただきました。その功績を称え、全国市町村教育委員会連合会より令和2年度全国市町村教育委員会連合会功労者表彰を授与されました。6月15日(月)に学校教育部長、教育総務課長、教育総務課職員が訪問し、表彰状を授与されました。長い期間、本当にありがとうございました。

受賞

この様な表彰をいただきましたこと、身に余る光栄と大変うれしく思います。

2期8年という間、私は地元習志野市の未来を担う子どもたちのために教育行政に関わることができました。また、無事に勤めあげられましたのも、皆様方の御尽力のお陰と感謝申し上げます。

これからも習志野市の教育がますます発展されますことを祈念申し上げます。

おめでとうございます!



梓澤キヨ子前教育委員

速報 習志野市 GIGA スクール計画 進行中!!

習志野市では、「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」及び「GIGAスクール構想の実現」に基づき、学校のICT環境を進めてきましたが、この度、一部国からの補正予算を活用し、「一人一台タブレット」を令和2年度中に実現するために整備を進めています。



大久保小学校は、児童数 811 名（令和 2 年 5 月現在）、教職員数 50 名を超える市内でも大規模に位置する学校の一つです。20～30 歳代の教員が半数以上を占め、活気・元気・覇気があり、教職員は、協力し合い、助け合い、声を掛け合いながら、共感的な雰囲気の中で教育活動に取り組んでいます。

今回は、大久保小学校が誇る「国語研究」と「吹奏楽部」にスポットをあて特集します！

1 国語が薫る 大久保小学校 詩の世界へ誘う 言葉の集会

大久保小学校では、昭和 43（1968）年度から現在に至るまで、国語科を研究教科として、ひたむきに実践し研究に取り組んでいます。そんな大久保小には、子供たちが国語と触れ合える環境があらゆる所に・・・！！ほんの一部ですがご紹介します。



季語の掲示物

言葉の階段

多読コーナー

学年ごとに詩の群読を発表する、「ことばの集会」を行っています。詩に関心を持ち、想像の世界を広げることがねらいです。また、他学年の発表を聞いて、今後の学習に生かせるようになってほしいという願いもあります。どの学年も、詩の世界観が伝わるよう、強弱や抑揚等様々な工夫をして取り組んでいます。（文責 伊藤麻希）



※昨年度の写真です。

2 大久保小学校 吹奏楽部 一音一步にのせる熱い想い

夏が近づくと、何やら校庭にカンカンという音が響き渡ります。その音に合わせて、子どもたちが「いち、に、さん、し・・・」と大きな声でカウント。これは、マーチングの練習の一風景です。マーチングは、形を作ったり演技をしたりしながら演奏をします。4～6 年生、約 60 名全員が主役になれるのがマーチングの特徴です。「えっ？入部して数か月の 4 年生もなれるの？」「そうです。『学年関係なく全員が活躍できる』のがマーチングの魅力の一つです。子どもたちの頑張りはもちろん、地域・保護者の方々の支えが大きな力となり、平成 28 年度～令和元年度の 4 年連続全国大会に出場することができました。

「全国大会 金賞」子どもたちが掲げた目標です。しかし、金賞をとることが重要なわけではありません。部活動で大切にしている「仲間」「主体性」「責任感」「礼儀」の 4 つのことを意識し実践することが重要だと考えます。

「最高の 7 分間だった。」全国大会終了後に言った部長の言葉は、今でも忘れられません。子どもたちは 3 年間の部活動で、心も体も大きく成長するのです。

（文責 鈴木莉奈）



※昨年度の写真です。

千葉ジェッツふなばし 31 原選手 母校訪問

雑草の如く遅しく

～習志野高校ニュース～

令和2年8月3日(月)に、男子プロバスケットボールチーム千葉ジェッツふなばしで活躍中の53期卒業生 原修太選手が習志野高校を訪れてくれました。校長室で岩波校長、男子バスケットボール部顧問黒田先生を交えて歓談した後、体育館に移動し、母校の後輩達に、激励の言葉をいただきました。また、原選手の背番号と同じ31個のバスケットボールとプロテインのプレゼントをいただき、記念写真の撮影を行いました。



写真撮影時のみマスクを外しています。

校長先生からは、「千葉のバスケットボールはレベルが上がってきている。原選手には、子ども達の夢、憧れ、目標であってほしい。」との言葉があり、原選手からは、「後輩が、お礼としてウインターカップで結果を出したいと言ってくれたのが本当にうれしかった。自分たちの頃はプロチームもなかったが、今の高校生はプロ選手になることを目標にできるし、モチベーションも上がるから伸びしろも大きいと思う。このチームは人数も多いし、チームとしてまとまっている。是非頑張ってもらいたい。」と期待を込めた言葉をいただきました。

～好きですふるさと習志野～

教育長コラム

「放課後子供教室の開設」「中央図書館のフルオープン」「一人一台タブレットの導入」「谷津小学校の建替え(引越し)」猛威をふるう「コロナ禍」において、4つの新たな事業、施設がスタートすることになりました。放課後子供教室は放課後児童会とは異なり、教育委員会が責任を持って放課後の子どもたちの居場所と学びを提供するものです。大久保東小学校での開設が本市では初めてとなり、計画的に各小学校に広げてまいります。中央図書館は、昨年11月に一部開館していましたが、今回、旧大久保図書館をリノベーションして、「こどもとティーンズのフロア」を設置し、フルオープンに至りました。子どもたちにとっては自由に伸び伸びと本を選び、学ぶことができます。多くの子どもたち、そして市民の皆様にご利用いただけたらと考えています。一人一台タブレットの導入は、なるべく早く子どもたちの手元に届くように準備をしています。そして、谷津小学校の建替えは、津田沼小学校に続くもので、今後、市内の小・中学校で建替えや大規模改修が続きます。どの事業においても「初め(始め)が肝心」です。形を作ったならば心を入れなければなりません。スタート時の進め方が今後を決めていきます。施設であれば当然、何十年も使用することになり、今が良ければという使い方をすると後の人たちが嫌な思いをすることになります。素晴らしい機会、施設を与えていただきました。大切にしていきたいと思っております。

(教育長 小熊 隆)